

前回のあらすじ(咭)

新たな薬品作りのため必要な素材を収集するべく
住み慣れた街から離れた
ヴァルベル、シルヴィー、ローリーローラー×2一行。

街で素材の情報を調べていたところ、
ひょんなことから役人からの依頼^{クエスト}を請け負うことに。
「魔女の元住処を解体せよ」との依頼で森の中にある一軒家に訪れたが、

ハウキの魔物「ヴァイオレット・ブルーム」
が立ちはだかる。

家の解体を阻止したいヴァイオレット
クエストを遂行したいヴァルベル一行は
激しい戦いと攻防を繰り広げ――。

ヴァルベルが機転を利かせ
「この家の主になる」との提案で無事解決。

Backlog

「魔女の元住処は解体しました。今日からこの家は**我が家**です」
(素晴らしいトンチ…！お父様、さすがです！)

しかし、魔力で生きる魔物がパーティー内に増えたワケで。
ヴァルベルの魔力は3体の魔物からどんどん吸われていくのだった…。

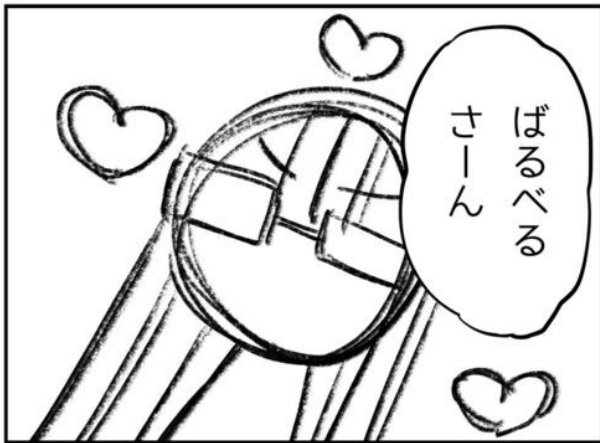
世界観



三体の魔物



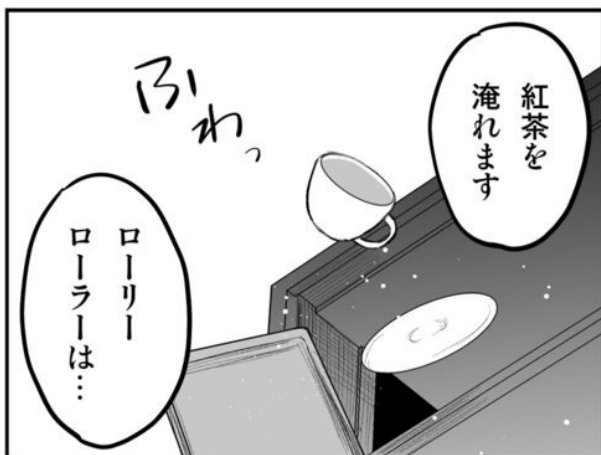
懐柔



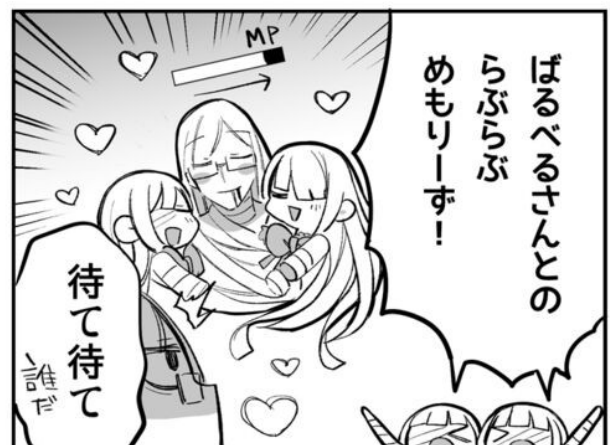
「医者だが」



魔力は飲み物



捏造禁止



貴賤無し



人間の血は平気でも魔物の血はちょっと怖いロリロラ



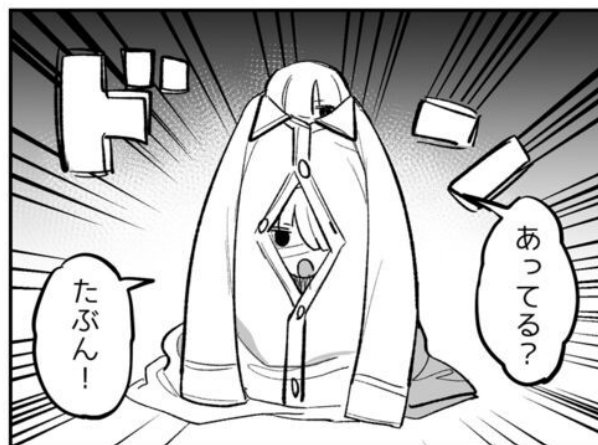
ホコリおいしい



魔物合体



彼シャツ



ヴァイオレットによる 魔力供給エロ日記

さて

ここからは
私の日記と
参りましょう

ハッ

ヴァルベルの
魔力供給(性的)の
方法ですが……

ホコリでも
食べて何とか
してくれ……!

朝から
何を……

お腹が空いたので
魔力をいただきに
きました

失礼します

おはよう
ございます

カチャ

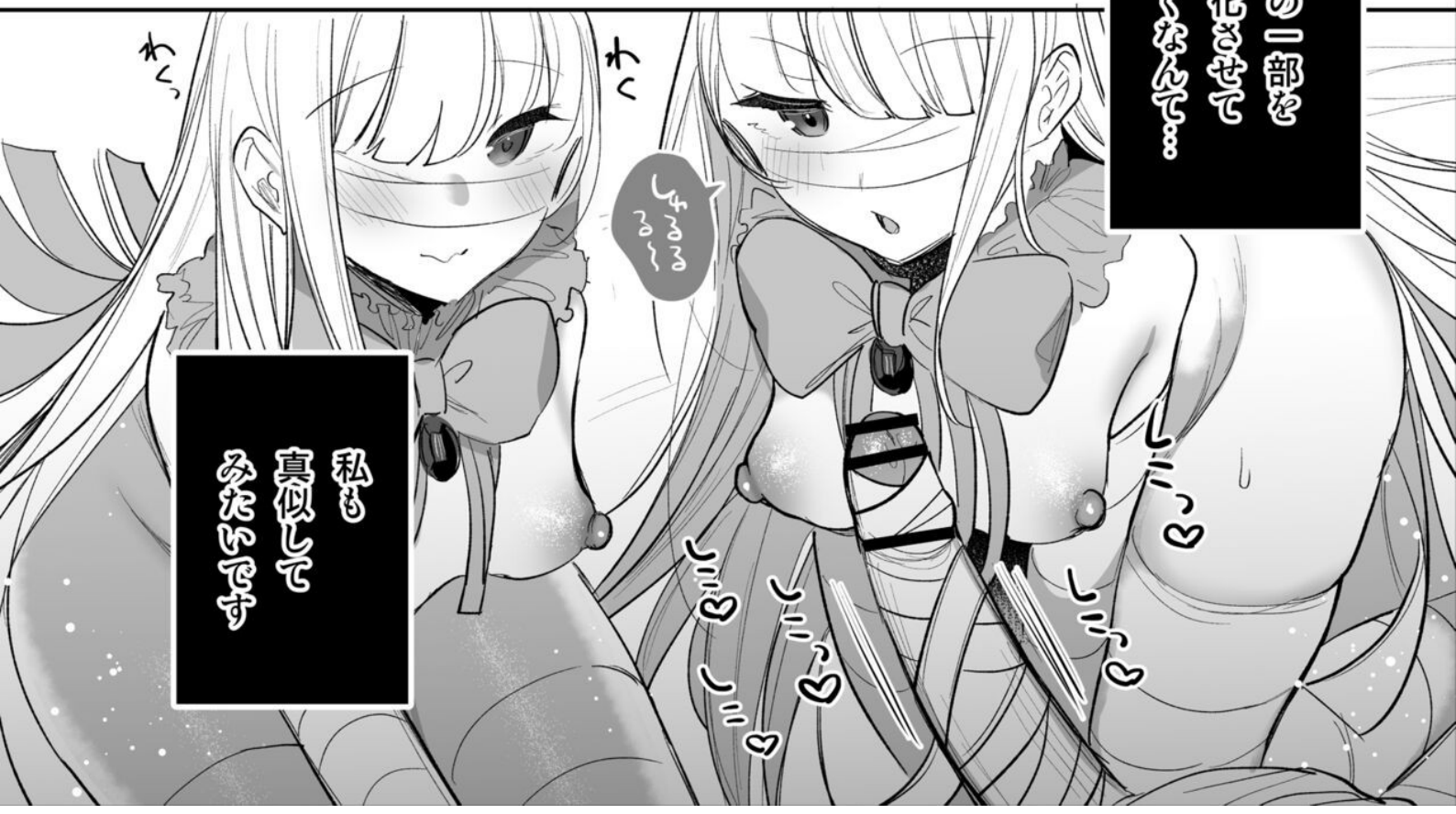
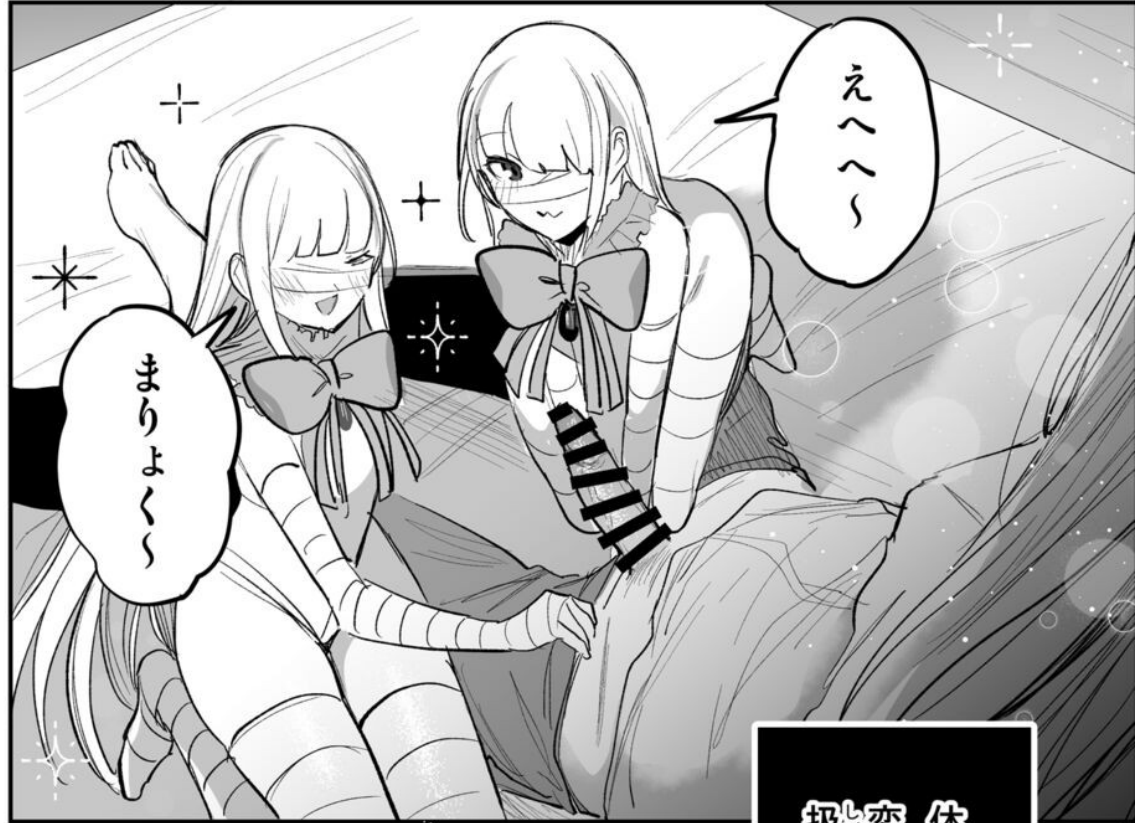
挿入はダメだそうで
ペッティングだけで
済ませていきます

いいじゃ
ないですか

味変って
ことで

とはいえ
私に性器は
ついてるので

これしか方法が
無いわけですが……



体の一部を
変化させて
扱くなんて...

私と違って

ローリー
ローラーには
性器があるのだ

!!

ド
ン
ッ

ド
ン
ッ

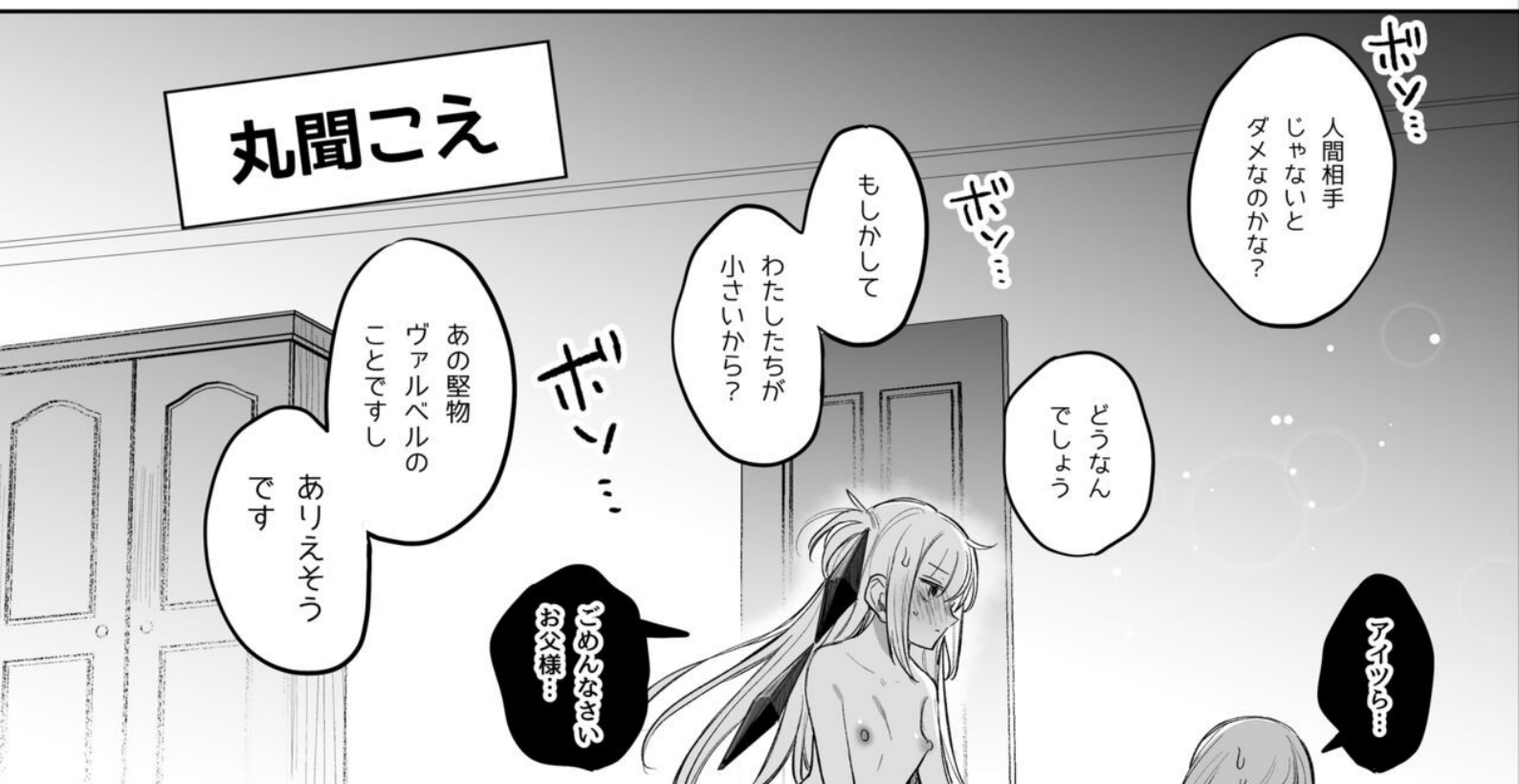
挿入はやっぱり
ダメだそうです

おいし
かった

まんぞく

二日
連続で…

魔力譲渡は…
キツイぞ…



夢オチ編

おやう
さま...

シルヴィー...?

じゃない!?

おはよ♡

やつぱ
体の中にも

まりよくが
ほしいな
つて...

ん♡

ん♡

や

やめ...っ

やだ♡♡

ん♡♡

ん♡

ん♡

ん♡

ん♡
ん♡
ん♡
ん♡
ん♡



やっで
しまったな。



補足

★魔物とセックスしない理由

- ・娼婦や奴隷扱いされている魔物を知っているから。
- ・子供を性的消費したくない。

など色々ありますが、一番大きな理由は

**ローリーローラーは雑魚モンスターなので
下手したら死ぬ**

という感じです。取り扱い注意。

細心の注意を払って事に及ばないと危険。

マンボウのような存在。

昔、娼婦にしようと
試みた連中が

「抱く前に
死んだ」

「肩を強く
掴んだだけで
経験値になった」

なんて言っていた
記録があつてだな…



Violet = Broom
ヴァイオレット・ブルーム

魔女が最期まで愛したホウキ

風属性
弱点：火、斬撃
大抵の攻撃は風で
吹き払うのでノーダメージ

魔女が住んでいた家を守っている。
人や魔物が家に危害を加えようすると
大風を起こし追い払う。

魔女が持っていたホウキが人型化した魔物。
魔女が得た知識や記憶は受け継いでいるため
意思の疎通や会話ができるが、感情に乏しくほぼ無表情。
女性の体をしているが魔女の容姿に似せているだけで
実際は無性別であり繁殖はできない。
他人に容姿を似せたり、元のホウキの姿に戻ったりと
変身能力に長けている。
真顔でブラックジョークを言いがち。

好物は紅茶と埃。

綿菓子のように埃を食べる。
空気中の魔力がこもっていて
おいしいらしい。

尖った耳。

瞳孔が紫がっている。

機嫌を損ねた時+完全防御フォーム

火も斬撃もダメージを無効化するが
攻撃することもできない。
移動はギリギリできる。



出自は、病院で使われ捨てられた包帯やガーゼなどが人間の血液+魔力を基に人型化したもの。
ローリーローラーが少女型ばかりなのは、血液と魔力の主が女性だから。
産院や病院の近くの森では特によく見かける。



ドロップアイテム
伸縮性のある包帯
薔薇色の寶石
薄紫の絹糸



包帯フォーム

基本無表情。
感情が豊かで人間に
友好的な個体もいる。

昔、娼婦や奴隷にしようと試みた人間がいたが、HPが少なくすぐに死んでしまう上、人間の命令を聞く個体が少なかったため失敗に終わっている。



知能が人間の3〜6歳程度あるため、人間の言わんとすることは何となく伝わっている。でも言うことは聞かない。



ローリーローラー

Rolly Roller

▶おまけ

基本右目or左目しかなく、
包帯の下に目は無い
(空洞、もしくは普通の皮膚)



目が完全に無い
個体も

魔力によって
周囲の知覚ができている

体が包帯でできているモンスター。
擬態・変身能力に長けており、包帯の姿になっていることも。
手足を包帯にして冒険者に巻き付き、
魔力を奪い取ることで生き長らえている。
魔力を吸い取る度に髪、手足が紫色になっていく。
全身が真っ白な個体はお腹を空かせている個体なため要注意。
巻き付かれたら最後、立てなくなる程に魔力を吸い取られるが、死ぬことはない。

火、斬属性に弱い。
倒した際、稀に仲間になってくれる。

初心者経験値上げのためによく倒される程度には
弱々雑魚モンスター。魔力を奪い取る以外は基本無害。
見た目の儚さ・可憐さがゆえに愛好家もいるらしい。

楽譜記号



単眼の個体は
「フェルマータ」
と呼ばれる



がめい

激レア個体

倒すと普通の個体より
経験値は多く貰えるが
逃げ足が速い

シルヴィー

本名 シルヴィーニャ＝チェルヴィヴィー

12歳/145cm

一人称 私/シルヴィー

元孤児。スラム街出身。
浮遊の魔術が得意。
恐ろしいほどの努力家。
よく野生のモンスターと
仲良くなっている。

スラム街時代に負った怪我の
影響で脳に障害があり、
髪に付けている魔法石と
左腕に付けている魔術具で
補っている。

好き 父親（血縁関係無し）
嫌い 上から目線（物理込み）



髪にくっついていません
磁石のような感じ

袖の模様



ひよこ型ボシエット

調合した薬液を飛ばしたり
その辺の石や岩を投げたり
して攻撃しています。
新たに何かを生み出すことは
できません。（炎や水など）

過酷な幼少期を送ってきた関係で
体を壊にして眠くて
前まで送ける程度の食事が
あれば幸せ。

首段は両腕黒手袋。
左腕のみに魔術具が
つけられています。
大きめの腕輪のような感じ。



魔法石は可変式
形状に制限はありますが
コンパクトにできます

父親の「少女は可愛いものを
身につけるべき」
という思想が入っているため
服装がやけにフリフリ。

本人曰く、「肌が露出しなければ
服なんて別になんでもいい
じゃないですか」とのこと。

